

政策名	5安全な港		責任者	総務部 危機管理室担当課長	連携担当課
基本施策名	07危機管理機能の強化				
個別施策名	21防災対策を強化する		連絡先	052-654-7813	
事務事業名	15大規模地震に対応した高潮対策の検討				

1 PLAN(目的・概要)

目的	大規模地震に対応した高潮対策を検討し、安全、安心な港を確保します。	事業期間	平成21~22 [※] 年度 ※「その他特記事項」参照
概要	国土交通省中部地方整備局は、伊勢湾における総合的な高潮対策を検討するため、有識者や関係行政機関からなる伊勢湾高潮災害低減方策検討委員会を設置し、高潮災害を最小化するための提言を取りまとめております。それと並行して、高潮防波堤の地震による沈下を検証するため、検討委員会に分科会を設置し、対応策を検討します。本組合としては、検討委員会には委員として、また分科会には関係者として参加し、有識者や国及び関係行政機関と協議しつつ、名古屋港の高潮対策を検討します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	伊勢湾高潮災害低減方策検討委員会 2回開催、同分科会 2回開催 [22年度の実施予定] 21年度検証内容を踏まえて、ソフト面では、港湾利用者への情報周知を目的とした説明会を開催し、国をはじめとした関係機関との共同の防災体制を構築するなどの検討を進めていく。ハード面においても、国の提言内容への対応について、優先順位、財政状況等を勘案しながら検討を進めていきます。						
活動指標	年度	19	20	21	22	最終目標 22	備考(指標の算定方法など)
委員会、分科会への出席	単位	目標		4	-	-	委員会と分科会の開催回数の合計
	回	実績		4			
関係機関との連絡調整会議の開催	単位	目標		-	6	-	中部地整、愛知県、名古屋市との打合せ回数 (22年度は7月以降、1.5ヶ月に1回程度開催)
	回	実績		15			
事業費	千円						
人員 正規職員	人			0.93	1.15		
	嘱託職員	人					
人件費相当額	千円			7,981	10,095		
事業費・人件費の合計	千円			7,981	10,095		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	最終目標 22	備考(指標の算定方法など)
ソフト面の検討の進捗状況	単位	目標			100	(累計)100	委員会において示された提言のうち、本港に該当する対応策の検討を100とします。
	%	実績					
	達成率(%)						
ハード面の検討の進捗状況	単位	目標			100	(累計)100	分科会において、示された対応策に対し、本港における事業として、優先順位、財政状況等を勘案しながら必要性を含めた検討を進めます。
	%	実績					
	達成率(%)						
観点	課題の有無	現状の「見える化」				その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・委員会における提言では、官民それぞれの実施主体におけるソフト、ハード両面の対応策が示されており、特にハードの対応策については、民間事業者が主体となっていくものが多いため、本組合が主体として行う対応策について検討を進めます。				※21年度は対応策の検証のみを行う予定でしたが、検討も行う必要性が生じたため、目標年度を22年度に変更しました。
	目的・水準の妥当性	有・(無)					
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)					
有効性	成果の達成度	有・(無)	・関係機関との連絡調整会において検討を進めていくが、今後の調整の中では、庁内合意を得た意見を出していく必要もあります。				
	内容の妥当性	有・(無)	・対応策の検討については、関係機関との連携により進めなければならないため、検討に慎重な対応が求められる場合もあります。				
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)					
	受益者負担の適正性	有・(無)	・災害は発生が予測できないものなので、短期集中的に人員を投入して検討を進めています。				
	経済性	有・(無)					

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大		○	関係機関と協議を進め、ハード・ソフトの高潮対策を取りまとめる必要があるため。
		維持			
		縮小			
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		伊勢湾高潮災害低減方策検討委員会が出された提言に対して、今後、関係機関と連絡調整を取りながら、ソフト、ハード両面の対策を検討していきます。			